



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.56 2015年 3月号

公益財団法人

School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

クメール語・算数講習開始

日本は徐々に暖かくなってきていると思いますが、カンボジアでは今月に入って一気に暑くなりました。これから5月までは雨も少なく暑い日が続くのですが、マンゴーの美味しい季節でもあります。マンゴーを食べて頑張りたいと思います。

今回は2月末から始めたクメール語・算数講習とレモングラスの収穫・調製作業について報告させていただきます。

① クメール語・算数講習

SAJ Farmのスタッフはチャンダーさんを除き、皆中学校を卒業していません。中学校、小学校を途中で辞めています。辞めた理由としては親の手伝いをしなければいけないため、授業についていけなくなったため、学校が面白くなったためなどです。そのため、カンボジアの母国語であるクメール語の読み書きができず、計算も苦手です。私も勉強が好きではないので仕方ないかと思っていたのですが、最近では学校を途中で辞める子が少なくなっているようです。その主な理由は、字がかけないと働ける場所がなくなってしまうようなこと、車の免許など仕事をする上で必要な勉強が出来ないのは彼等にとって不利になることなど。我々は就労支援を行う組織であることからこの問題に取り組んでいこうと考え、2月末から週に1回クメール語・算数講習を行うことにしました。

クメール語の講習では子音など基本的な文字の読み書きから始めています。講師役はチャンダーさんにお願いしています。中学校まで行ったスタッフは今のところ問題なく出ていますが、小学校で学校に行かなくなったスタッフはなかなか苦戦しています。そういったスタッフには宿題を出し、少しでも勉強する時間を多くすることで身につけてもらえればと考えています。最終的には一通りの文字が読み書きできるようになり、新聞やインターネットなど文字で情報収集できるようになり、日報など業務で必要なことを書けるようになってもらえればと考えています。

算数の講習では今のところ足し算をやっています。皆さんが足し算自体は分かるのですが、数字に慣れていな



クメール語はチャンダーさんに講師役をお願いしています



算数では数をこなしてもらうため、81マス計算をやっています。

いため、数をこなしてスピードと精度が上がるようにと考えています。今後は引き算、掛け算、割り算を教え、問題なさそうであれば、予算の作り方や人時生産性の考え方など仕事で役立つ数字についても教えることが出来れば、彼らの役に立つのではないかと考えています。

今のところクメール語・算数どちらの講習も皆一生懸命やってくれています。彼らも SAJ Farm で働くことを通じて文字の読み書きや簡単な計算は出来るようになったほうが良いと感じてくれているようです。彼らの一生懸命学ぶ姿を見て、私も負けずに頑張らねばと感じます。

今回の取り組みが上手くいけば、学校を途中で辞めてしまった子どもたちにも講習を行えればと考えています。そうすることで地域の働き先が増え、地域の所得が向上するようになれば、少しはカンボジアに貢献できるのではないかと考えています。まだまだ小さな取り組みですが、一歩ずつ進めていきたいと考えています。

② レモングラス収穫・出荷作業について

今月はお茶用レモングラスを出荷する為の作業に集中して取り組みました。お茶用レモングラスは、収穫→選別→乾燥→裁断→再選別→出荷という流れで作業し、日本へ出荷、日本でお茶に製造されます。

作業をしてつくづく感じるのは畑のレモングラスの状態が良ければ、全ての行程が非常にスムーズになるということです。レモングラスの状態が良ければ収穫作業が早く終わり、選別作業ではじかれる葉の量も少なくなるため、生産性が高くなります。また、葉が長い方が裁断の作業も早くなります。

レモングラスを継続して良い状態にする為には有機物を継続して投与し、土のポテンシャルを維持・向上していくこと。適切なきに適切な作業を行うことが重要になります。極めて当たり前のことなのですが、これを継続して行う為には、現場で働く人間がしっかりと意志を持って作業に取り組むことが必要です。カンボジアの過酷な環境に負けず、地元のスタッフと共に頑張っていきたいと思ひます。



問題を一生懸命解くスタッフ



レモングラス収穫作業。状態が良ければ、1人1時間 50kg 以上収穫できます。



レモングラス選別作業。状態が良いので、この作業も早く進みます。

編集後記

2月で30歳になりました。地元の人からはおじさんと呼ばれます。孤児院の子ども達は園長の指導の賜物か、お兄さんと言ってくれるのですが(笑)。

歳ばかりとって成長してないような気もしますが、これからも自分に出来ることを全力で取り組み、少しでも人の役に立てるようにしていきたいと思ひます。

早藤